

「寺院・宗派からはみ出す広域信仰の旅 ～近世の六十六部回国供養～」



講師から一言

江戸時代、先人が培ってきた信仰文化の特質を、今あらためて考えてみたい。

江戸幕府の宗教政策が、寺院・宗派の性格を、どのように枠付けたか。

その許にありながら、明治以前の世の中で、仏教的な信仰文化が、底力を発揮していた。

18世紀の初め、全国的に急増した六十六部の供養塔は、狛江や周辺にもあちこちに残っている。

六十六部「絵本御伽品鏡」より



こまえ市民大学

講師 菅原昭英さん

泉龍寺仏教文庫館長 泉龍寺前住職 駒沢女子大学名誉教授 東京大学資料編纂所教授
永平寺史料全書編纂委員 狛江市史編さん委員、平塚市史編さん委員

令和 8 年 1 月 24 日(土) 午後 2 時～4 時

会場 中央公民館 2 階 講座室

定員 50 名 受講料：200 円（高校生以下無料）

令和 8 年 1 月 7 日(水) 午前 10 時から申込開始

電話・窓口・または右の二次元コードから Web にて

申込・お問合せ 中央公民館 ☎03-3488-4411

【休館日（第 1・3 火曜日、祝日）除く午前 9 時～午後 5 時】



web 申込

主催：狛江市教育委員会(狛江市立公民館) 企画・運営：こまえ市民大学運営委員会